

今、改めて考える

Web・会場同時開催

その人らしい生き方を実現する支援 ～その人らしさを支える多様な支援とは～



2023年

11月18日(土) 14:30～17:00

会場受付 14:00 Web接続 14:10 / 開会 14:30

会場：愛媛大学医学部創立40周年記念講堂

Web：zoom

※参加申込みはWebから(詳しくは、裏面をご覧ください)

※参加対象は医療・保健・福祉・行政・教育機関にお勤めの方、学生

参加費
無料



参加申込みはこちらから

申し込み締め切り 11月7日(火)

基調講演

「社会的処方」から学ぶ地域連携のしくみづくり～目の前の人、数々の障壁を乗り越えられた人～

講師 大阪医科薬科大学 医学研究支援センター医療統計室 講師 西岡 大輔氏

シンポジウム

「その人らしさを支える多様な支援とは」

シンポジスト

木原道雄 司法書士事務所 司法書士

久万高原町保健福祉課長 寿介護班地域包括支援センター 介護福祉士

医療法人聖愛会 訪問看護ステーション ベテル 所長

木原 道雄氏

佐々木 将史氏

川久保 亜紀氏

主催：愛媛大学医学部連携病院長会議 地域医療ネットワーク協議会

愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター

後援：愛媛県医師会 / 愛媛県医療ソーシャルワーカー協会 / 愛媛県看護協会 / 愛媛県社会福祉士会 / 愛媛県精神保健福祉士会

問い合わせ：愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター TEL 089-960-5261/5918

第24回愛媛地域医療連携ネットワーク研究会 趣旨

これまで当研究会では地域共生社会に向けて生活をどのように支えることができるのかという視点から、医療だけではなく各分野の方々と検討を行ってきました。本年度は第24回愛媛地域医療連携ネットワーク研究会であるとともに総合診療サポートセンター10周年の節目の年であり、当センターのミッションである「生活を切らないその人らしい生き方を実現するための支援」について、改めて考える機会にしたいと思っております。新型コロナウイルス感染症の影響や家族の在り方の変化により、社会的孤立、経済的困窮などの課題を抱える患者さんが多くなりました。一筋縄ではいかない今の時代を反映した多様な連携について見識を深める機会としたいと思っております。

参加方法

参加申込は、Webからの申込みのみとなっております。



←参加申込はこちらから

▶右のQRコード

(読み取りができない場合は、<https://forms.gle/TRjwwCYDXpPxR4NK6>)

または、

▶ 1

2 新着情報「第24回愛媛県地域医療連携ネットワーク研究会開催のお知らせ」からお申込みください。

申し込み締め切り 11月7日(火)

※Web参加の招待メールは、11月16日(木)以降にご登録アドレスへお送りいたします。

※会場参加の方は、当日14:00から受付を行います。

※個人情報保護法及びその他の個人情報の取扱いに関する法令を遵守し、個人情報の保護に努めます。

プログラム

14:30 オープニング	開会挨拶 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター センター長・教授 日浅 陽一 総合診療サポートセンター10周年記念祝辞 四国医療産業研究所 所長 檀本 真津氏
14:40 話題提供	「愛媛大学病院地域医療連携ネットワークシステム『HIMEネット』」 愛媛大学病院Web予約システムについて 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター 副センター長・准教授 廣岡 昌史
	座長 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター センター長・教授 日浅 陽一 聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科・大学院 看護学研究科看護学専攻 教授 村岡 則子氏
14:45 基調講演	「社会的処方」から学ぶ地域連携のしくみづくり ～目の前の人は、数々の障壁を乗り越えられた人～ 講師 大阪医科薬科大学 医学研究支援センター医療統計室 講師 西岡 大輔氏
15:35 シンポジウム	「その人らしさを支える多様な支援とは」 -シンポジスト- 木原道雄司法書士事務所 司法書士 木原 道雄氏 久万高原町 保健福祉課 長寿介護班 地域包括支援センター 介護福祉士 佐々木 将史氏 医療法人聖愛会 訪問看護ステーション ベテル 所長 川久保 亜紀氏
17:00 閉会	

基調講演 講師 西岡 大輔氏プロフィール

医師、社会福祉士、介護支援専門員。大阪医科薬科大学医学研究支援センター医療統計室講師と南丹市国民健康保険美山林健センター診療所所長(非常勤)を兼務しています。医師として診療現場で多くの人々の健康の社会的決定要因(貧困や孤立など)に触れたことをきっかけに、大学院および社会福祉専門学校へと進学し学びを修めました。現在の研究テーマは、生活困窮者の健康支援で、健康に対する「貧困」「孤立」「障害」といった心理社会的な障壁や、「へき地」「離島」といった物理的な障壁があるような人々の健康権の保障を目指しています。さまざまなフィールドで、保健、医療、介護、福祉、地域社会が一体となった、科学的根拠と当事者性を大切にした健康なまちづくりを進めています。日本プライマリ・ケア連合学会健康の社会的決定要因検討委員会の委員および日本医療ソーシャルワーカー協会の理事を務めています。



<会場参加の方へ感染症対策のお願い>

体調不良の方は大変申し訳ございませんが入場をご遠慮ください。



総合診療サポートセンター
Total Medical Support Center